

大学のアルバイトの学生さん達も献身的な働きをして下さり、この紙面をお借りして感謝申し上げます。

なお、シンポジウムのアブストラクト集 (Part I, II, 各1,000円) が学会事務局に残っているので、興味のある方は直接事務局に問い合わせて頂きたい (TEL 03-3812-0920)。

御 礼

最後になりましたが、大林組ほか民間企業31社からご寄附をいただきました。ここに、御社名を記して、御支援に対し心から厚く御礼を申し上げます。

石川島播磨重工業(株), エスケイバキュームエンジニアリング(株), NTT, 大林組, (株)オプトロン, カール・ブース・ジャパン(株), 川崎重工業(株), 神津精機(株), (株)神戸製鋼所, シグマ光機(株), (株)島津製作所, 清水建設(株), 新日本製鉄(株), 住友重機械工業(株), 住友電気工業(株), セイコー電子工業(株), ソニー(株), 東京電気特器(株), (株)東芝, 東レリサーチセンター(株), トムソンジャパン(株), 日電アネルバ(株), 日本鋼管(株), 日本電気(株), 浜松ホトニクス(株), (株)日立製作所, (株)富士通研究所, HOYA(株), 三菱電機(株), 理学電機(株), (株)リコー

＜研究会報告＞

第8回PFシンポジウム報告

実行委員長 福谷博仁 (筑波大学)

去る1月22～23日、第8回PFシンポジウムが高エネルギー物理学研究所で、放射光実験施設、PF懇談会共催で開かれた。参加登録者は約260名であった。

初日のプログラムは

- (1) 施設報告
- (2) ポスターセッション
- (3) 共同利用の諸問題の討議
- (4) ワークショップ (X線トポグラフィの現状と将来, 放射光を利用した蛋白結晶学の新しい展開, 光プロセス)
- (5) 親睦会

である。

PFの共同利用実験がスタートして10年経過し

た現在、共同利用のあり方にも種々の問題が生じており、PF懇談会にも「利用専門委員会」が発足した。(1)の施設報告で施設長報告と共に、入射、光源、測定の3系の主幹報告を受け、(3)の共同利用の諸問題の討議を行った。主なテーマは課題申請、審査、ビームタイム配分であり、現行システムの紹介 (安藤正海PAC委員長)、今後の行き方 (岩崎博, PF測定器主幹)、PFスタッフの意見 (PF, 松下正, 野村昌次, 柳下明)、ユーザーの意見 (太田俊明, 藤井保彦, 水木純一郎)、全体討議を約2時間10分にわたって行なった。

この企画のねらいは全ての点において成功したとは思われないが、共同利用の新しい形態の1つ

として、技術的困難度の高い、あるいは特別なリングの運転などを必要とする課題をS型とし、有効期間を3年として、場合により実験費も支出するという提案が施設側より出された。

又、ユーザー側からは、新しい研究分野、技術の開拓のため施設スタッフに年間600時間程度のビームタイムを与えてはどうかという提案がなされた。

これらの点は注目に値する。このような提言、要望がより深く議論され、PFにおけるより活発な研究活動力につながることを期待したい。

「共同利用の諸問題」の報告は、PFニュース (Vol. 8, No. 5, 1991) で藤井保彦、青木貞雄両氏よりされているので、参照されたい。

23日のプログラムは

- (1) 光源、運転に関する問題
- (2) ポスターセッション
- (3) トリスタンMR放射光利用計画
- (4) PF懇談会総会

であった。

ポスターセッションでは、54 (22日)、67 (23日) の発表が行なわれた。会場が少し手狭で、次のポスターへ移動するのが困難であった。それだけ熱心にディスカッションが行なわれたといえよう。次回シンポジウムでは、空間的にもう少しゆとりのある会場を設定するように、次回実行委員会に要望したい。

22日のワークショップでは、いずれの分野も活

発な討議が行なわれた。光プロセスのワークショップでは、民間企業及び大学、国立研究所の研究者が、基礎、応用の両面から互いに情報を交換し、有意義であったと世話人が話しておられた。放射光科学の学際的性格から、このようなワークショップの重要性は、ますます大きくなると思われる。

「光源、運動に関する諸問題」「トリスタンMR放射光利用計画」のセッションでは、単バンチ運転、アンジュレーターフリーチューニング、トリスタンMRの低エミッタンス化、FEL等の現在進行中、及び近将来の光源の諸問題が議論されたが、これらはPFのみではなく、広く我が国の放射光科学研究者に深く関わる問題であり、しばしば議論し、コンセンサスを深める必要があると思われる。

最後に、今回の実行委員会スタッフを記す。

実行委員長	福谷博仁 (筑波大)
実行委員	庶務 中井泉 (筑波大)
	岩住俊明 (PF)
	会計 森岡弓男 (筑波大)
	会場 繁政英治 (PF)
	プログラム 青木貞雄 (筑波大)
	野村昌次 (PF)

各セッションの世話人、PFスタッフ、シンポジウム参加者各位の御協力を得て、第8回PFシンポジウムを終了することができたことを謝して、報告を終りたい。